

平成26年6月19日発行
常総市水海道天満町2472
☎23-2233 FAX23-2234

社会福祉法人常総市社会福祉協議会

市民・福祉センター「ふれあい館」内

<http://www.joso-shakyo.jp> E-mail info@joso-shakyo.jp

ホームページを開設しています。ご覧ください。



ひとり暮らし高齢者等を対象とした「お食事会」。
年に1回は会場を移して実施しています。
大生・五箇地区(協力:さくら会)

も く じ

- 第3次地域福祉活動計画策定 2
- 北から南から、地域のたまり場 3
- 会員会費のお願い、25年度決算報告 4
- いってみてきいて 5
- ちょっとおじゃまします 5
- いんふおめーしょん 6
- あなたのハート、さんぽみち 7
- ボランティア・市民活動ひろば 8

ーボランティアサークル活動紹介ー



声の広報利用者との交流会
(こたま)



お食事会参加者へのプレゼント制作
(石下ぼらんていあの会)

誰もが安心して暮らせる

福祉のまちづくりに向けて



第3次地域福祉活動計画スタートしました

地域福祉活動計画は、社協が地域の実情を踏まえ、これからの地域福祉をどのように進めていくかを体系的に整理し、取り組むべき課題をまとめたものです。

常総市に暮らす一人ひとりが、地域社会を担う一員として自分の地域について考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくための計画です。

社協では、支援を必要とする人への見守り、声かけなどの助け合い活動、福祉講座やスポーツ大会などのふれあい活動、社協支部活動、ボランティア活動、会食型の食事会など、地域に根ざした地域福祉活動を進めてきました。

最近では、サロン活動の広がりや日常の生活をサポートする事業など、地域福祉実践の新しい動きが進みつつあります。

これまで第2次計画に基づいて事業を進めてきた中で、引き続き取り組むべき課題と新たに見えてきた課題を大きく4つにまとめ、それらの課題解決に向けて基本目標を定めました。

◆課題1

地域のつながりが希薄になり、支え合い活動がでにくくなってきています。

◆課題2

超高齢化社会となり、生きがいや元気に暮らすための新たな取り組み

が必要になっています。

◆課題3

世帯構成の変化により、ひとり暮らしや高齢者、障がい者世帯などへの新たな支援が必要になってきています。

◆課題4

地域の福祉課題が多様化し、課題解決のためには、市民が課題を共有し、活動していくことが必要です。



▲お食事会の後は、みんなで健康体操

課題解決に向けて、次のような基本目標を掲げ、様々な事業を実施していきます。

基本目標1

住民が共に支え合う活動を推進します

実施事業

社協支部の支援／お食事会／地域ケアシステム／在宅福祉サービスせいむ／ふれあいいきいきサロン活動支援／共同募金運動／歳末援護／広報紙「ふくしJOSO」発行／ホームページ運営 など

基本目標2

地域で元気に暮らす応援をします

実施事業

高齢者訪問／スポーツ大会／介護保険／心身障害者福祉センター・児童デイサービスセンター・障がい者相談支援センター・三坂児童館・水海道児童センター管理運営／交通遺児入学祝金支給／シルバークラブ連絡協議会事務局 など

基本目標3

自分らしい生活を支援します

実施事業

心配ごと相談／日常生活自立支援／生活福祉資金貸付／小口貸付／火事見舞い／苦情解決のための窓口設置／乗合交通運行事業「ふれあい号」 など

基本目標4

人や活動がつながる応援をします

実施事業

ボランティア・市民活動センター運営／ボランティア啓発・育成のための講座開催／災害ボランティアセンター運営／ボランティア・市民活動団体支援／ボランティア連絡協議会事務局 など

自分たちで

グラウンドを作っちゃいました！

松山ゴルフ会

グラウンド・ゴルフは、地面上に15坪から50坪のコースを8ヶ所作り、ボールを何回でポストへ入れられるか、というゲームです。古間木地区、松山の秋森さんたちは、自分たちだけでプレーをする場所が欲しいと思い立ち、グラウンド作りを始めました。仲間の一人が、敷地を貸してくれることになり、昨年の5月、みんなで作業に取り掛かりました。

「缶を拾い、草を刈り、除草剤を撒き、整地をしました。暑いなか大変でしたが、どうにかできあがりました。」と当手を振り返ります。敷地は周りの畑より1坪ほど高く

水はけが良かったため、雨上がりでも問題なくプレーができるそうです。

その後、ビニールハウスの材料を利用して休憩所も作り、椅子、テーブルも持ち寄って、立派なサロンに変身させました。もちろん、トイレも自分たちで作りました。

プレーは、火曜から金曜までの



▲気心知れた仲間とストレス解消

週4回で、時間は午後1時からです。会員は13名で皆、和気あいあいとゴルフを楽しんでいます。休憩時間は、お茶を飲みながら世間話に花を咲かせています。

「畑の真ん中なので、大声出しても迷惑がかからないし、バーベキューをしたり、冬場の寒い時は、すいとんを作ったり、最高の場所です。」「体を動かす機会が増え、日頃のストレスも解消でき、大満足です。」と皆さん口をそろえて話していました。

広報委員 下拂有子



地域のたまり場 ⑩

「ふれあいきぬの里」

“ふれあいサロン・地域のたまり場・福祉カフェ”など地域の交流を目的とした活動を紹介するコーナーです。

今回は、内守谷町きぬの里地区にあるサロンを紹介します。

内守谷町にあるきぬの里は、平成12年にできた新しい地区です。年々世帯や人口が増え、現在では約950世帯、2500名が住んでいます。

「新しくできたまちなので、ご近所の皆さんと顔見知りになつて、つながりを持ちたいと思い立ち上げました。」と話す『ふれあいきぬの里』代表の杉浦信男さん。

きぬの里自治会館ができたのがきっかけで、6、7名のお茶のみ会からスタート。口コミなどで誘い合つて、現在では男性5名、女性17名の22名の会員で、年齢構成は50代から80代です。

8月を除き、毎週月曜日の午前中に集まり、第1・3週はシルバー



▲おしゃべりと笑いが絶えないサロンです

リハビリ体操やいきいき体操を実施。第2・4週は卓球や健康マージャン、囲碁、手芸など思い思いに楽しみながら過ごしています。ちなみに卓球は、卓球台がないのでテーブルを並べて対戦しています。近ごろは、女性に健康マージャンが人気だとか。

昨年8月には、守谷市のアサヒビール工場見学といこいの郷常総で昼食、そしてカラオケと楽しい一日を過ごしてきたそうです。

会員は「いろいろおしゃべりができるから」「みんなに会うのが楽しい」など、お互い昔から知り合いのような雰囲気でお話をしていたのが印象的でした。

会費の使い道

皆さまのご協力により、昨年度は 9,079,400 円の会費が集まりました。

この会費は、社協支部の福祉活動、手話講習会、高齢者専門講座、心配ごと相談、法律相談など、地域福祉の推進に活用させていただきました。

【お問い合わせ先】
社協 本 所 23-2233
社協 石下支所 30-8789

社協は、高齢者福祉や障がい者（児）福祉をはじめ福祉啓発・ボランティア活動推進など、さまざまな福祉事業を展開しています。こうした事業を推進し、福祉のまちづくりに役立てるため、市民の皆さまに毎年社協会費のご協力をお願いしています。

今年も社協支部の役員や、自治区長会を通じ、各ご家庭や事業所に伺いますので、皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

社協会員会費
ご協力をお願い

●●平成 25 年度常総市社協 決算報告●●

社協は、市からの補助金・受託金、寄附金や社協会費を財源に運営しております。市から指定管理を受けた4つの施設運営、また、補助事業・介護保険事業を行っております。「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進している社協の平成 25 年度一般会計収入支出決算は次の通りです。



(単位：円)

経理区分	事業内容	収入決算額	支出決算額	差引残額
法人運営事業	職員人件費、市民・福祉センター「ふれあい館」管理運営、公用車の維持管理、小口貸付	97,888,906	93,920,698	3,968,208
調査啓発活動事業	支部活動、お食事会、ボランティア活動推進、交通遺児入学祝金、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、障がい者社会参加促進事業	12,656,032	11,494,556	1,161,476
共同募金配分事業	高齢者福祉活動、児童・青少年福祉活動、ボランティア活動育成事業、地域福祉活動推進事業、歳末たすけあい運動	13,206,530	11,708,394	1,498,136
補助事業	在宅福祉サービス事業「せいむ」	12,906,864	12,778,427	128,437
	地域ケアシステム推進事業	6,740,397	6,214,295	526,102
	予約型乗合交通運行事業「ふれあい号」	46,260,083	46,233,723	26,360
受託事業	三坂児童館管理運営	8,254,018	8,030,247	223,771
	水海道児童センター管理運営	14,585,946	14,316,835	269,111
	心身障害者福祉センター管理運営	28,713,372	27,278,991	1,434,381
	児童デイサービスセンター管理運営	22,257,946	21,747,900	510,046
介護保険事業	訪問介護事業	26,463,518	21,226,382	5,237,136
	訪問入浴介護事業	3,938,147	3,304,142	634,005
	居宅介護支援事業	14,763,534	11,209,636	3,553,898
	合 計	308,635,293	289,464,226	19,171,067

社会福祉法人会計基準により会計処理を行っています。



障がい者の福祉サービス 制度が変わります

平成27年度から、障がいのある方が利用する福祉サービスの制度が変わります。それを受けて、社協でも「障がい者相談支援センター」を6月1日に開設し、相談支援事業を開始しました。新しい制度とその内容について聞いてきました。

新しい制度では、障がいのある方が、福祉サービスを利用する際には必ず「サービス等利用計画」が必要になります。

相談支援事業を行なっている事業所と契約をして利用計画書を作成しなければなりません。

社協でも新しい制度に合わせて、水海道森下町の児童デイサービスセンター内で事業を始めました。

他に市内では、筑波キングス・ガーデン（大生郷町）、常総ふれあいの杜（大生郷町）、かしわ（坂手町）の3事業所も指定を受けています。

事業所との面接、訪問などによる聞き取りの後、利用計画案が作成され「受給者証」が発行されます。その後、サービス担当者会議が開かれ利用計画が完成します。



▲お気軽にご相談ください。

すでに、福祉サービスを受けている方や新しく利用したいと思っている方、その他詳しい事については、各事業所に問い合わせてください。

新しい制度によって、利用する皆さんの笑顔が増すように願っています。

広報委員 星野ヨシ



幕末から明治・大正時代のまちの歴史を語り継ぐ活動をしている海老原良夫さん（水海道栄町）を訪ねました。



▲海老原良夫さん

郷土の歴史を未来につなぐために

海老原良夫さんは、明治・大正生まれのお年寄りから聞き取った話を基に「水海道高瀬舟物語」の紙芝居6編を自ら作り、地域の高齢者や子どもたちに、これまで150回以上の出前公演を行ってきました。また、江戸時代末期の不二道ふじどうの指導者・教育者である地元出身の鈴木頂行すずきみなりの業績を記した「常総の隠れた英雄・鈴木頂行とその時代」を出版しています。

紙芝居をつくられたきっかけは？

「子どもたちに水海道商業の歴史を語り継いでいくため」と話されました。

長期にわたる公演活動を続ける力の源は？

「老人ホームなどでの公演活動で、これまで会話をしなかった寝

たきりの高齢者の方が、紙芝居を聞いたあと、周囲の人と会話をするようになるなど、公演が少しでも皆さんの役に立っていると実感できることが気持ちの支えです。」と笑顔で語りました。

鈴木頂行の「不二道」とは？

「不二道とは勤勉、正直、早起き、困った人への援助など人のあるべき姿を説いたものです。」更にこの教えを二宮尊徳が受け継いでいることを聞き驚きました。

今後の新たな活動は？

これまで25年間かけて集めた郷土資料を地域の方に紹介するため「自宅店舗内に水海道商人資料室あきんどを開設。水海道商業の過去と未来をつなぐ活動を進めていきます。」と心は未来に向かっていました。

広報委員 寺田光春



「こま作り」 にみんな夢中

水海道児童センター
TEL 23-1902

4月に小学生1～3年生31名の参加のもと、工作教室で「こま作り」をしました。指導は、長くボランティアとして協力していただいている井上勝さんです。

厚めの紙を使い、コンパスの使い方や中心のとり方など遊びの中に算数を取り入れ、楽しく作ることができました。できあがった色とりどりのこまをまわして楽しんでいました。



上手にできるかな？

預かりサービス 実施中

児童デイサービスセンター
TEL 22-5352



▲ただいま、ペットボトルの分別作業中

夏休みなどの長期休暇時や放課後の時間に預かりサービスを実施しています。対象は中学生以上です。宿題の補助や他施設での作業体験など活動範囲を広げ、将来に向けた支援も行っています。

ご利用は、市で発行される通所受給者証が必要になります。お気軽にご相談ください。

心配ごと相談所を開設しています

一人で悩んでいませんか？暮らしの中の様々な悩みごとや心配ごとをご相談ください。



心配ごと相談

日時 毎月第1・3火曜日 午後1時～4時
場所 第1火曜日…社協本所
(水海道天満町2472)
第3火曜日…社協石下支所
(新石下4365 石下総合福祉センター内)

法律相談

日時 毎月第4火曜日 午後1時～4時
場所 社協本所

◆事前に下記までお申し込みください◆

社協本所 TEL 23-2233

社協石下支所 TEL 30-8789

車いす・杖をお貸しします

外出時や日常生活での歩行が難しい方に、一時的に車いすや杖をお貸しします。

対象者 市内にお住まいで、車いすや杖を必要とする方

※介護保険など公的サービスを利用できる方はそちらが優先です。

期間 最長6ヶ月（更新・延長不可）

料金 無料



◆数に限りがありますので、

事前に下記までご相談ください◆

社協本所 TEL 23-2233

社協石下支所 TEL 30-8789

社協事業所

◆社協本所

TEL 23-2233 FAX 23-2234

◆社協石下支所

TEL 30-8789 FAX 30-8790

◆介護保険事業所

TEL 25-1001 FAX 25-1002

◆予約型乗合交通（予約）

TEL 30-4891 FAX 42-7911

◆三坂児童館

TEL/FAX 22-7937

◆水海道児童センター

TEL 23-1902 FAX 23-1903

◆心身障害者福祉センター

TEL 22-9400 FAX 22-9411

◆児童デイサービスセンター

TEL 22-5352 FAX 22-5354

◆障がい者相談支援センター

TEL 23-5234 FAX 22-5354

みんなに伝えたい あなたのハート

「社会福祉のために役立ててください」と
皆さまから社協へ寄せられた善意は次のとおりです。
ありがとうございました。

(敬称略)

現金	
カトレア歌謡会 代表 染谷 喜美子	20,515 円
利根コカ・コーラボトリング(株)	4,100 円
(株)オリエンタル商事	41,437 円
ユニー(株)アピタ石下店	22,136 円
匿名	630 円
匿名	283 円
匿名	100 円
物 品	
倉持 和美	学用品
小林 明美	車いす
退職公務員連盟水海道支部 支部長 秋山 昇	タオル、石鹸、靴下、歯磨き粉
退職公務員連盟常総市水海道支部女性部	タオル、石鹸、歯ブラシ、はがき、ハンカチ、使用済み切手他
伊藤 明男	はがき、使用済み切手
常陽銀行 水海道支店	使用済み切手
匿名	紙おむつ、おしりふき、はがき
下十花さくら会、石下小学校、稲葉 信夫、染谷 彪雄、匿名	使用済み切手

平成26年3月6日～6月5日

とんぼす

先日、雨戸の戸袋の横に小さな蜂の巣を見つけました。家の中から窓ガラス越しに見るとちょうど私の目の高さ。距離は15センチ先。「こんなに間近で蜂の巣を観察できるなんて!」。それ以来、一日に何度もカーテンの隙間から蜂の巣をのぞいています。

蜂はほとんど動いていないのに、確実に数が増えていく六角形の部屋。1匹しかいないので、巣を作っているのは女王蜂です。「女王蜂といえども大変なのねえ」とねぎらいの言葉をかけながらも、「このまま大きくなったらまずいよなあ」と困惑もしています。

広報委員 大津 礼子

常総市社協行動原則⑥ 最終回

常総市社協活動の更なる活性化を図り、社協職員としての価値観や基本的な考え方を共有し協力して地域福祉を進めていくために、6つのテーマで「社協行動原則」をつくりました。

テーマ⑥【法令遵守、説明責任】

私たちは、法令を遵守し、自らの組織や事業に関する説明責任を果たし信頼され開かれた社協づくりをすすめます。

- 関係法令の遵守はもちろん、社会的規律や職場内ルールに則った行動をします。
- 業務上知り得た個人情報、関係法令に基づき適切に対応します。また、プライバシーを尊重し、関係者との情報共有の際には、定められた手続きに基づき適切に対応し、その秘密を保持します。
- 住民や関係者に対して、社協の業務について十分な説明責任を果たすとともに、情報公開に努めます。

ボランティア・市民活動

ボランティア・市民活動の
いろいろな情報を紹介します。

ひ る ば



福祉を体験しませんか？ ～福祉出前講座～

体験をとおして障がい者や高齢者の気持ちを体感し、福祉についての理解を深めようとする講座です。

◆利用方法

市内に在住、在勤する5名以上のグループでお申し込みください。
※ 費用は無料（高齢者疑似体験を除く）

◆講座内容

車いす体験、手話体験、高齢者疑似体験、点字体験、家庭介護体験など。
※ 詳しくは、社協へお問い合わせください。

◆開催時間

平日の午前9時から午後5時まで（土日、祝日、夜間は要相談）



▲みんなで力を合わせて
段差をクリア

これで安心！ ～ボランティア行事用保険～

Aプラン（日帰り）の保険料

1名あたり 1日 28円
（最低保険料 560円）
（最低加入人数 20名）

保険の加入には、センター登録
（無料）が必要となります。

保険、センター登録は、社協へ
お申し込みください。



ボランティア・市民活動の行事における主催者と
参加者のケガや主催者の賠償責任を補償します。

◆加入対象者

ボランティア・市民活動団体、個人

◆補償対象者

行事の主催者・参加者

◆補償内容（Aプランの場合）

通院日額 2,200円
入院日額 3,500円

ボランティアカフェ

open

7/5（土）6（日）午前10時～午後3時

会場：石下総合福祉センター（新石下）

★ 内 容 ★

- ・ボランティア・市民活動団体パネル展示
- ・ボランティア体験コーナー
- ・バザー
- ・カフェコーナー ほか

主 催：常総市社協 常総ボランティア連絡協議会

どなたでも
どうぞ♪



大好評！
バルーンアート体験

先着 100 名
（両日）

ドリンク1杯無料

（抹茶を除く）

※ 切り取ってお持ちください
（コピー不可）

